

教職実践研究室（石川昌紀先生）

▶どのような研究に取り組んでいますか？

インクルーシブな保育実践や理論を主たる研究関心としています。その対象となる多様なニーズのある子どもがいる保育では、課題や問題の原因を子どもに求めません。発達の凸凹した特性が環境とミスマッチやアンマッチした状態にあるのではないかと、周りの環境との関係で捉えて解決を図ります。つまり、誰をも排除しない保育の魅力を探究しています。



▶どのような活動に取り組んでいますか？

障がいのある子どもがいる保育や保育上の諸課題に関する保育者支援（巡回保育相談）、保育士等キャリアアップ研修（障害児保育）、保育者資質向上研修（特別支援教育）、私立幼稚園協会研修（インクルーシブ保育）、保育園や幼稚園の園内研修などを通して、かぐわしい保育の今を問い続けています。

▶研究室やゼミ（4年次）のことについて教えてください。



研究室の Credo（信条）は、人の傍らに在ることに重きをおいた研究活動に努めて、子どもの育ちに寄与できる人材育成に貢献することです。

卒業研究では、保育の機微に身をおいたフィールドワークを通して、インクルーシブな保育実践など、

自身の問いに情熱を傾けて向き合います。さらに研究関心を豊かにする体験として、オープンキャンパスでは高校生と、幼稚園の公開保育では現役の先生方との対話を通して、あらゆるヒトの常日頃から学びを得ています。このように多様なヒトが集ってプレンダーとなる機会、そして同志との対話をもとに学びをおもしろがってほしいです。

【過去の卒業論文】

- ・インクルーシブ保育における保育者の役割
- ・気になる子どもと他児の育ち合いの芽生え
- ・障がい児保育における社会的相互作用の分析
- ・自閉スペクトラム症の子どもへの援助と育ち
- ・特別な支援を必要とする子どもへの保育者の援助
- ・きょうだいが同胞以外のきょうだいから受ける影響
- ・障がい児の主体的な遊びードキュメンテーション記録を通してー

